

OSAKA みらい 市政報告

発行：OSAKA みらい大阪市議員団
〒530-8201 大阪市北区中之島 1-3-20 大阪役所内 ☎ 06-6208-8650
問い合わせ先：武直樹市民協働事務所
〒544-0015 大阪市生野区巽南 1-12-10 ☎ 06-6753-6714
武直樹公式ホームページ：<http://www.take-naoki.com/>
ブログ：<http://ichigotochie.blog.eonet.jp/> Twitter：@takenaoki
Facebook 始めました！ <http://www.facebook.com/naoki.take.1>

大阪市議員 武直樹



プロフィール

- 1972年 12月26日生まれ。
- 1999年 同志社大学大学院社会福祉学専攻博士課程(前期)修了。大阪市生野区社会福祉協議会に就職。7年間、生野区のまちづくりに携わる。
- 2006年 大阪市東住吉区社会福祉協議会 地域包括支援センター社会福祉士。
- 2009年 NPO法人いくの市民活動支援センターを仲間とたちあげ(2009.4)社会福祉士・介護支援専門員として、大阪市、生野区のまちづくりに奮闘中。
- 2011年 大阪市議員選挙(生野区)6,737票のご支持を受け当選。



委員会質疑について控室で調査中

今後の議会日程

- 9月10日・26日：本会議
- 9月11日：公営・準公営決算特別委員会
- 9月18日~20日：常任委員会
- 9月30日~10月9日：公営・準公営決算特別委員会

武直樹が所属する委員会での質疑報告

7/26 市政改革特別委員会が開催され、質疑しました。

● 地域活動協議会の形成について

大阪市内、7月1日現在で314地域で地域活動協議会が形成され、残る13地域が今年度中に形成予定となっている。生野区でも小学校区ごとに19地域が形成済。色々な地域実情があるなかで、地域のペースに合わせた「地域活動協議会」形成促進とすべきところ、行政からの押しつけで形成を急がせている。看板の掛け替えにすぎず、形だけ作っただけで、市政改革プランに掲げる「大きな公共を担う地域社会づくり」には現状は、程遠い。地域のペースにあわせた活動支援を行うことを要望しました。

● 地域活動に関する補助金について

25年度については、特例的に補助率の上限を100%となっているが、来年度以降どうなるか判らないので、地域からは、不安と不満の声が上がっている。原則としては、補助上限を50%とし、残りの50%を地域に自主財源を求めるときいている。地域に財政的な手当てがなければ、地域活動が立ち行かなくなることも考えられるが、どのように支援するのかとの間に、具体的には、その他事業補助の補助率2分の1を上限とするという原則を踏まえつつ、現在補助対象経費として算定されていない地域のボランティアのみなさんの労力を金銭換算し、活動に要した経費として補助の対象となる経費に算入することができるような制度についても検討していきたいと考えているとのことで、活動が継続できるよう重ねて要望しました。

● 認定NPO法人について

自主財源をふやすためには、個人や企業が寄付をしやすくする仕組みをつくる必要がある。NPO法人が、寄付を受けやすくなる認定NPO法人となる条件を緩和するための、個別指定条例を活用することを要望しました。

7/25 8/1 交通政策特別委員会が開催され、質疑しました。

● 地下鉄8号線の延伸について

9月に設置される予定の、「大阪市における鉄道ネットワークのあり方検討委員会(仮)」において、8号線延伸の実現性に向けた課題とその方策について最優先で検討していただき、国の次期答申に盛り込まれるよう取り組んでいただくことを強く要望しました。

● 交通局バリアフリー部会について

交通局では、バリアフリー施策の推進にあたり、障がい者団体や高齢者の団体の当事者から意見をいただくバリアフリー部会を設置している。民営化にあたり、「地下鉄民営化基本プラン(案)」には部会を発展的に活用していく方針が記されているが、「バス事業民営化基本プラン(案)」では触れられていない。当事者の意見を反映していく場がなくなることは後退である。「ひとにやさしい」理念をしっかりと引き継ぐためにも、こうした場をしっかりと引き継いでいただきたいと要望しました。

7/23~24

政令指定都市政策協議会に参加してきました。

23日は、市政50周年を迎えた北九州市の北橋健治市長から講演いただきました。特に印象に残ったのは、OECDが「グリーン成長モデル都市」に指定し、さらに、グリーンアジア国際戦略総合特区に選定され、環境にこだわって、新しい技術を生み、成長につなげていく点でした。



門司港駅は改修中でした

翌24日は「門司港レトロ地区のまちづくり」の視察を行いました。レトロ地区は、平成7年107万人の観光客が、平成13年からは毎年200万人を超え、最近では220万人で定着しているとのこと。一方で「海の時空館」まではいかないまでも、入場者数が少ない施設もありました。武直樹としてはあらためてゆっくり訪れたいと思う街並みでした。



北九州市の北橋健治市長

7/31

区政会議が開催されました！

平成 25 年度第 1 回生野区区政会議を開催されました。平成 24 年度生野区運営方針の振り返りについて、平成 25 年度の生野区の主要事業の進捗状況について説明がありました。「地域活動協議会」をはじめ、武直樹が継続して提案、要望してきました、「災害時における要援護者支援『きずなネット』の構築事業」「老朽危険家屋問題」「いわゆる『ごみ屋敷』対策」「地域共生型福祉サービス」なども生野区の主要事業として取り上げられています。

各委員からは、多くの質問、提案がなされました。武直樹は、「今まで生野区の施策がどこでどう提案され、どう評価され、どう決定していくのかのプロセスが明らかになったことは意義があることである。ここに参加している委員さんもまた地域からたくさんの意見をいただいて参加しているでしょうから、そういった声も、施策に反映させていけるような工夫をしていただきたい」と事務局に提案しました。



地域活動協議会主催の夏祭り



地域共生を進める仲間

8/4

大阪地域医療ケア研究会に報告者で呼んでもらいました。

生野区で進めている「地域共生」。その取り組みの経過と今後について報告させていただきました。今までの活動の自分なりの整理になりました。いろんな活動が繋がってきて興味深いです！！

8/7

おおさか子ども市会 中学生市会が開催されました。

大阪市会では毎年夏休みにこども市会が開催されています。今年は、議員の定数と同じ86人が参加して行われました。生野区からも、大池中、田島中、勝山中から5人が参加しました。本会議場で実際に18人が登壇し橋下市長と論戦を行いました。「全員給食」を目指す、橋下市長からの逆質問では、「弁当派」が多数で市長も苦笑いでした。武直樹も自分の子どもに申込みを進めましたが断られました。ぜひ皆さんも来年チャレンジしてください。



おおさか子ども市会

8/9

災害時における要援護者支援「きずなネット」構築に向けた合同勉強会が開催されました。



8月9日の勉強会の様子

今後毎月、生野区で継続的に学習会が行われ「きずなネットマップ」が作成される予定です。また、来年3月9日には、福祉避難所開設訓練が行われる予定です。ぜひとも皆さんもご参加ください！
今後の予定。「地域自主防災組織について（9月）」「災害現場の“障がい者”（10月）」「福祉避難所とは（11月）」「最善の備え“自助・共助”（12月）」